

1章 「科学する心を育てる」とは

私たちは、幼児期の子どもたちが、「すごい!ふしぎ!」「なぜ?どうして?」と感動したり、想像したりすることや、命の大切さに気づいたり、遊ぶ喜び、学ぶ喜び、共に生きる喜びを感じる事が大切だと考え、「科学する心を育てる」というテーマを掲げました。

ここでは、それぞれの園がどのように「科学する心を育てる」を考え、園の考えや理念と結びつけたのか、また、その考えを日々の保育の中でどのように実践していくかについて、様々な視点や捉え方を紹介します。

1. ふしぎを見つけよう ひがし保育園(秋田県秋田市)

研究のねらい

ポタソ一つで世界の情報がたちどころに入ります。そうした情報の嵐の中で、子どもたちの体験は、直接体験が欠如し、間接体験が中心になっています。自然とのふれ合いが少なく、外で遊べない子どもも増えていきます。

子どもたちが本物に触れる機会を多くし、その中からふしぎを見つけ、感動や共感する喜びを味わせたい。本物の中でもっともすばらしいもののひとつが自然です。木の葉一枚、花びら一枚、昆虫の羽一枚だって、どんなにすぐれた名工でも作ることはできません。本物はいくら見ても、いくら触れても飽きることはありません。そこから驚きと感動が生まれ、創造性が培われ、生活の知恵が生まれます。自然や遊びをとおして本物に触れ、「ふしぎを見つける」ことで、子どもの科学する心を培いたい。

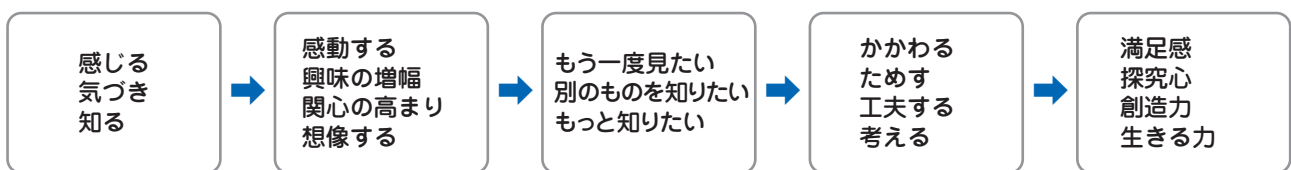
自然とのかかわり、ふしぎ・発見をとおして子どもたちに心の豊かさや創造性の芽を育ませたい。自然とのふれ合いをとおして、季節の変化を知り、友だちとのかかわり方を学び、自然を大切にしたり、身近な動植物に触れることで、生き物には命があることに気づかせ、命を大切にすることを育てたい。

★ ふしぎを見つける場の設定を二つの視点から考えました。

- 1 自然に触れることでふしぎを見つける。
- 2 意図的に用意した場の中からふしぎを見つける。

★ ふしぎを見つけるチャート

五感をとおしてふしぎを見つける



しぶがきのふしぎを見つけよう



—勇気をだして、しぶ体験—



お酒でしぶぬき



干しがき体験



リンゴでしぶぬき



ポイント

直接体験の大切さと、そこから探究することの大切さを「ふしぎを見つける」という言葉で表しています。ひがし保育園では、多くの植物栽培や生き物の飼育を通して、子どもたちが身体全体で自然に触れながら、様々な「ふしぎ」に出会えるように、保育者が小さな出来事にも心をとめ、意図的に環境を整えています。